

2025年7月24日

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会  
推薦内定選手の決定（第1次）について

公益財団法人日本障害者スキー連盟  
会長 椎名 茂

公益財団法人日本障害者スキー連盟（会長 椎名 茂）は、「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会選手推薦基本方針および推薦基準」（以下、推薦基本方針および基準）に基づき、2025年7月17日に開催した理事会において、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会推薦内定選手（第1次）を以下のとおり決定し、日本パラリンピック委員会（JPC）に推薦することにいたしました。

推薦内定選手は、2025/2026 シーズンに、国際パラリンピック委員会（IPC）が規定する「2026 ミラノ・コルティナパラリンピック大会出場資格規定」の出場資格を満たす必要があります。

また、選考要素を満たさない怖れが発生した場合（例、競技力に影響を及ぼす怪我や故障、アンチ・ドーピング違反、インテグリティやコンプライアンス違反など）、理事会にて推薦の取り消しを決定する場合があります。

今後、「推薦基本方針および基準」に基づき、推薦内定選手の追加（第2次：12月、第3次：1月）を予定しています。日本代表選手団の決定は、当連盟からの推薦に基づき、日本パラリンピック委員会（JPC）にて行われます。

本件に関して推薦内定選手および強化スタッフへの直接の問い合わせ、取材申し込みはご遠慮いただき、当連盟の問い合わせフォームにてお問合せ、ご依頼いただきますようお願い申し上げます。

（お問い合わせ）公益財団法人日本障害者スキー連盟  
内容に関する問い合わせ <https://jps-ski.com/contact>  
取材申請 <https://jps-ski.com/interview>  
広報担当 隅野 礼雄(090-1548-9671)

【参考】

- ・公益財団法人日本障害者スキー連盟

ミラノ・コルティナパラリンピック競技大会選手推薦基本方針および推薦基準

<https://jps-ski.com/wp-content/uploads/2025/06/486cfcf83151234c5cbbe001d1cc882b.pdf>

- ・IPC 2026 ミラノ・コルティナパラリンピック冬季大会出場資格規定

<https://www.paralympic.org/milano-cortina-2026/qualification-regulations>

- ・JPC「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会 日本代表選手団編成方針及び選手選考基準」

<https://www.parasports.or.jp/paralympic/news/01.%E3%83%9F%E3%83%A9%E3%83%8E%E3%83%BB%E3%82%B3%E3%83%AB%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%8A2026%E3%80%90%E7%B7%A8%E6%88%90%E6%96%B9%E9%87%9D%E5%8F%8A%E3%81%B3%E4%BB%A3%E8%A1%A8%E9%81%B8%E6%89%8B%E9%81%B8%E8%80%83%E5%9F%BA%E6%BA%96%E3%80%910925.pdf>

## ◆推薦内定選手のコメント

### 【アルパンスキー】

#### ●鈴木猛史

このたび、2026年ミラノ・コルティナパラリンピックへの推薦内定を頂きました。ご支援いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。皆様の応援を力に変えて、最高の準備をして本番に臨みたいと思います。引き続き応援よろしく願いいたします。

#### ●村岡桃佳

一次推薦内定を頂き、大変光栄に思っております。私自身、冬季パラリンピックへ臨むのは4度目になりますが、何度経験しても緊張感が薄れることはありません。日の丸を背負うという大きな責任と覚悟を持ち、皆様に勇気や活力を感じていただけるような滑りが出来るよう、残りの時間を過ごして参ります。

#### ●森井大輝

ミラノ・コルティナパラリンピックの一次推薦内定をいただき大変光栄に思っています。競技に対し真摯に向き合い努力を積み重ね目標に向けて全力を尽くします。全力で滑る姿を通して、スポーツが持つ可能性と素晴らしさを世界に発信できれば幸いです。応援のほど、よろしくお願いいたします。

#### ●本堂杏実

日頃より温かいご支援ご声援心より感謝しております。今回、ミラノ・コルティナパラリンピック推薦内定をいただき、とても嬉しく思います。三回目のパラリンピックとなり、今度こそはメダル獲得という強い気持ちがあります。まずは、怪我をしないことを第一にメダル獲得へ向け残り限られた時間を大切に過ごしていきたいと思います。引き続き、ご声援よろしくお願いいたします。

### 【ノルディックスキー】

#### ●川除大輝

ミラノコルティナパラリンピックの推薦内定をいただき嬉しく思います。北京パラリンピックでは20キロクラシカルで優勝することができました。そこから4年近く経ち、自分の成長した姿をミラノコルティナパラリンピックで見ただけならなと思います。そして、2大会連続メダル獲得できるよう残された時間さらに競技力に磨きをかけて、頑張っていきたいと思います。応援よろしく願いします。

#### ●新田佳浩

ミラノコルティナに向けて、推薦内定を頂いたことで8大会連続の出場に向けて一歩進んだように思いますが、大切なことはパラリンピック本番でメダルを獲得することです。世界のレベルも上がってきていますが、年齢に関係なく負けない努力と覚悟を持って残りの期間も頑張ります。

### ●阿部友里香

この度ミラノコルティナパラリンピックの推薦内定をいただき大変嬉しく、そして身の引き締まる思いです。過去パラリンピックはコンディショニングに苦しみ、中々思うようにいかないことに自分自身何度もがっかりしました。ここ数年で様々な状況を乗り越え、経験値も上がりました。今回のミラノコルティナパラリンピックでは自信を持ってレースに臨み、どのような結果であっても満足した、やり切ったと思えるパラリンピックにしたいです。そしてその先にメダル獲得という目標が達成できることを信じています。

### ●森宏明

このたびミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック推薦内定をいただきました。日頃から応援していただいている皆様感謝申し上げます。前回の北京大会を経て自身の課題と向き合いながら、持ち味のスプリント力を最大限に磨き上げました。集大成となる 25/26 シーズンは自身の限界への挑戦、そして日本チームに貢献していくため、最善の準備をしまいにいます。

### 【スノーボード】

#### ●小栗大地

パラリンピックという大舞台に仲間と共に挑めることを誇りに思います。これまでの歩みを力に、残り7ヶ月でしっかり準備を重ね、チーム一丸となって一つでも多くのメダルが獲得できるよう全力で戦います！

#### ●小須田潤太

まずは、応援してくださる全ての皆様、いつも本当にありがとうございます。昨季最後まで転戦した7人全員が一次推薦内定を得られた事を、本当に嬉しく思います。北京から継続して5人、新戦力が2人、元木コーチの加入、自分は間違いなく、綿谷 JAPAN でなければここまで成長出来ていなかったと思います。最高の結果でお返し出来るよう、全力で取り組みます。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

#### ●市川貴仁

今回の推薦内定を受けて、これからメダルに向けてより集中して練習に取り組んでいきます。北京では日本にメダルを持ち帰れず悔しい思いをしました。あれから4年。長いようですが本当に一瞬で過ぎ、またこの舞台が戻ってきます。日本のみなさんに笑顔になってもらえるよう、そして4年前の悔しさを取り返すような結果をとってきます。スポーツの力でみなさんに恩返ししていきます。

#### ●岡本圭司

この4年は自分にとって本当に色々な事があった時間でした。順調に成長してきた2023年の世界選手権のセミファイナルでクラッシュをおこして、足首の粉碎骨折。そしてそこから1年半競技に復帰する事が出来ませんでした。人生は色々あると感じますが、それでも自分が出来る事を積み重ね、ここまで戻って来ることが出来ました。

自分にとっては厳しい戦いにはなるとは思いますが、TEAM JAPAN としては過去最高のチームになっています。

周りのメンバー、そしてスタッフを信頼して、最後まで迷いなく突き進みたいと思います。

PES！

#### ●坂下恵里

パラスノーボードとして日本人女性初の推薦内定をもらえたことは大変嬉しく思います。ここまでこれたのは紛れもなくコーチ陣始め関係者の皆様のお陰だと感じています。ありがとうございます。初めてのパラリンピックという舞台では表彰台を目指して頑張ります。坂下恵里の行動で世間に感動や勇気を与えられる存在になりたいです。これからも日々の努力を怠らず、更に自分を高めていきます

#### ●大岩根正隆

私にとって、出場が決まれば2度目のパラリンピック。

前回北京では、スノーボードクロス8位入賞でしたが正直、メダルを狙える滑りに仕上がっていたにも関わらず、2回戦目のキッカーで転倒してしまい、自らその可能性も逃してしまった。あの瞬間がトラウマになっていましたが、2026ミラノ・コルティナ出場およびメダル獲得を目標に掲げながら、北京後の活動で苦手だったキッカーも克服し、更なる上の滑りを求め準備しています。

応援お願いします。

#### ●後田風吹

先シーズンから本格的にW杯に参戦となり、世界の選手との力の差を痛感し自身の課題を沢山見つけるきっかけとなった厳しいシーズンでした。

技術面で特に課題となったキッカーでの浮遊感はTHE KINGS神戸などのオフトレ施設でジャンプスキル習得に力を入れ、フィジカル面では筋力増強(体重増加)よりも身体操作に力を入れていて、その成果を日に日に感じています。

残りの期間しっかりと準備して、自身にとっても、応援下さる皆様にとっても最高の結果になるよう引き続き頑張りたいと思います！